

小学校理科教育 理論研修会 終了報告

| | | |
|----------------|---|--|
| テーマ | 言語活動をいかした、思考がつながる授業づくり | |
| 日時 | 平成28年 6月 28日(火) | |
| 会場 | 江別市立江別第一小学校 理科室 | |
| 講師 | 佐藤 卓朗氏 <small>(石教研理科小部会 副部長 千歳市立信濃小学校教諭)</small> | 青木 啓洋氏 <small>(石教研理科小部会 研究員 江別市立江別第一小学校教諭)</small> |
| 参加者 | 約37名 | |
| 研修会 の 様子 |  | 中心単元の授業づくりのためのポイントを説明し、「中心単元から『身につけさせたい力』を見つけてみよう」という活動を参加者の先生方にしていただきました。 |
| |  | 場面と内容を書き出し、ブロックごとに相談しながら身につけさせたい力を見つけていきました。 今回の研究では「身につけさせたい力」を一単位時間の指導計画に意識して取り入れることになっているので、とても参考になった、との声が聞えてきました。 |
| |  | 次に、5年生のふりこの単元を使い、ブロックごとに相談しながら板書プランを考えてもらいました。 |
| |  | 青木研究員から模擬授業形式で表やグラフを使うの方法を提示し、中心単元の授業の進め方を体験してもらいました。 |
| |  | 最後に、グループごとに中心単元についての話し合いをもって、終わりました。 |